

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和元年10月4日
発信課	農業振興課
担当者	長谷川慎
連絡先	電 話 0166-25-7438
	FAX 0166-26-8624
	E-mail sh_hasegawa@city.asahikawa.hokkaido.jp

分 類	イベント・行事
日 程	10 月 10 日 ～ 10 月 10 日
発表項目 (行事名)	子ども食堂等への食材提供
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>「子ども食堂」などの子どもの居場所づくりを支援するため、あさひかわ農業協同組合より食材(新米500kg)を提供します。報道方、よろしくお願ひいたします。</p> <p>経緯 あさひかわ農業協同組合では以前から地域での食育・食農に取り組んでおり、同農協より近年広がりを見せている「子ども食堂」など子どもの居場所づくりについても協力したいとの申し出があり、旭川市の仲介により「旭川おとな食堂」(子ども食堂等の運営者ネットワーク)への食材提供を行うこととなったものです(詳細別紙)。</p> <p>日時 令和元年10月10日(木)午後1:30～</p> <p>場所 あさひかわ農業協同組合直売所 あさがお神楽店(神楽5の8)</p> <p>内容 既に直売所の野菜提供を開始しているところですが、今回は長期間保管できる食材として新米500kgを提供します。 (内訳:ななつぼし250kg, ゆめぴりか250kg)</p> <p>担当 あさひかわ農業協同組合 営農企画部 谷本(電話37-8855) 旭川おとな食堂 事務局 今井(ワーカースコープ内 電話73-6692)</p>
添付資料	<p style="text-align: center;">有 報道機関の皆様へ(あさひかわ農業協同組合)</p> <p>※ 有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。</p>
報道(取材)に 当たっての願 い	旭川おとな食堂では限られた人員とスペースでフードバンクを運営しているため、食材提供の際は拠点(1の5 多機能型事業所あーる内)への持込みをお願いしているほか、食材の種類や保管スペースの状況等によっては受入をお断りする場合があります。報道の際は御配慮のほどよろしくお願ひいたします。
備 考	

報道機関の皆様へ

近年、食料品のロスの多さが問題となっている現在において、当JA（あさひかわ農業協同組合）直売所でも農畜産物の返品をいかに減らすかという事は、大きな課題でありました。課題解決の為、子ども食堂・大人食堂で食材として使用して貰えないかを旭川市農政部へ相談したところ、子育て支援課を通じてワーカーズコープ今井マネージャーを紹介して頂くことができました。

平成30年7月より打合せを重ね、お互い無理が無いように、また新たな食品ロスを出さない様にする為に必要な野菜を注文方式で提供する事と致しました。子ども食堂・大人食堂へ、必要以上の数量を提供したとしても使用できなくては、結果として廃棄する事となり本末転倒となってしまう為、本年8月30日より売れ残る野菜を調査しその結果を基にワーカーズコープより直売所へ注文して頂く事で、食品ロスが無くなり、お互いにメリットが生まれました。

本年、当JAの新米は豊作となった事もあり、化学肥料・化学農薬を極力使用していない特別栽培米ゆめぴりか、北海道よりYES! cleanの認証を受けている、YES clean なつぼしをそれぞれ5kg袋で50袋、全体で100袋提供する事となりました。

当JA自慢の新米を是非、多くの方に食べていただきたいと思えます。

また、冬には農産物直売所あさがお永山店に併設しております、江丹別そば処「穂の香」を開放して、農家のお母さん達と子ども達が一緒に調理をして、みんなで食事をする事ができるようなイベントも食農教育の一環として考えております。

当JAと致しましては、今後も地産地消に向けた積極的な取組を行っていくことで、地域活動・食農教育の一端を担っていく事が出来るように事業を行って参りたいと考えております。

令和元年10月4日

あさひかわ農業協同組合

代表理事組合長 島山 守穂

【参考】直売所から提供した野菜一覧

ピーマン、ねぎ、ささげ、ハウレンソウ、中玉トマト、ミニトマト、ターサイ、サラダ菜、ナス、レタス、大根、ブロッコリー、枝豆、カブ、パクチー、スイスチャード、アマランサス